

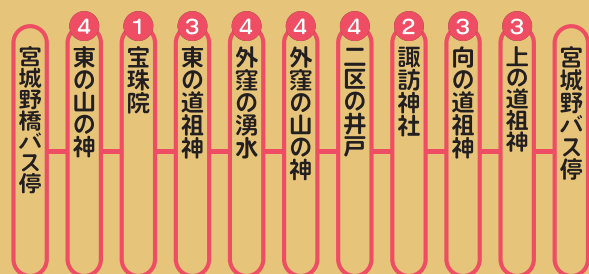
宮城野の史跡をめぐる旅

～宮城野橋バス停から宮城野バス停～

宮城野の集落をぐるっと散策するルート。

石造物（道祖神や湧水地に祀られる水神）を目印に歩いてみましょう。

落ち着いた地域の雰囲気には癒されながら歩くと、昔の集落の様子がイメージできるかもしれません。



全長 1.5km 所要時間約60分

江戸時代の
雰囲気が
あるかな？



立ち寄りどころ

宮城野温泉会館



宮城野バス停から徒歩2分。日帰り利用ができる温泉です。散策や旅につかれたときは温泉のほかに休憩室（有料）の利用もできます。

営業時間 10時から21時（最終入館は20時まで）

休館日 毎週木曜日ほか

（木曜日が祝日の場合は営業します）

浴室使用料 大人 650円 小人 300円

休憩室（2時間）大人 400円 小人 200円

Tel 0460-82-1800

YOSEGI-Chan



箱根町文化遺産活性化実行委員会

〒250-0315

神奈川県足柄下郡箱根町塔之澤 74(福住楼内)

監修 箱根町教育委員会



令和元年度文化庁文化芸術振興費補助金(地域文化財総合活用推進事業)を活用して作成しています。

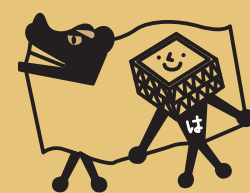
宮城野は観光でにぎやかな強羅や二ノ平などと違い、静かで落ち着いた、知る人ぞ知る地域です。

諏訪神社や宝珠院など寺社を中心に、明神ヶ岳への登山口である山裾の集落と、地域の人々が大切にする山の神様、道祖神などを見学できるので、歴史ファンの方々にぜひ、足を運んでもらいたい地域です。

コースを一回りしてバスに乗る前に、日帰り温泉で汗を流して旅をしめくくりましょう。

M
I
Y
A
C
H
I
N
O

おまつりに
あたると
貴重な獅子舞
みれるかも！



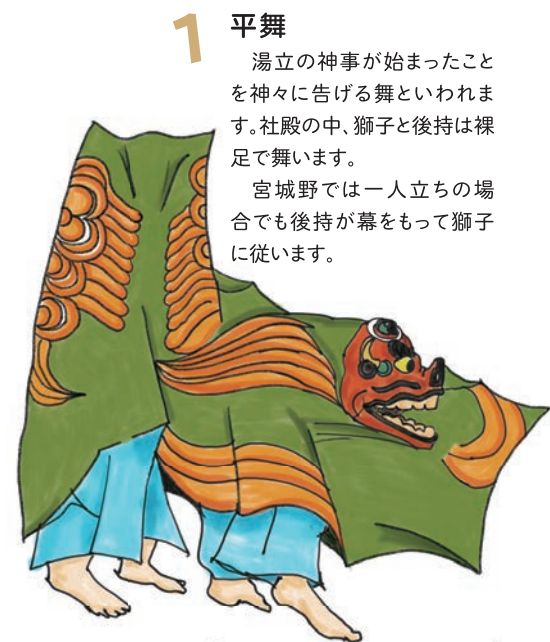
みどころ

宮城野の湯立獅子舞



7月15日の天王祭でみられる湯立獅子舞は、国から記録作成などをすべき貴重な無形民俗文化財として選ばれている貴重な行事です。箱根では仙石原とここ宮城野でしか見られません。

煮えたぎる湯釜の湯を熊笹で振りかける湯花を浴びると健康に過ごせるといわれています。



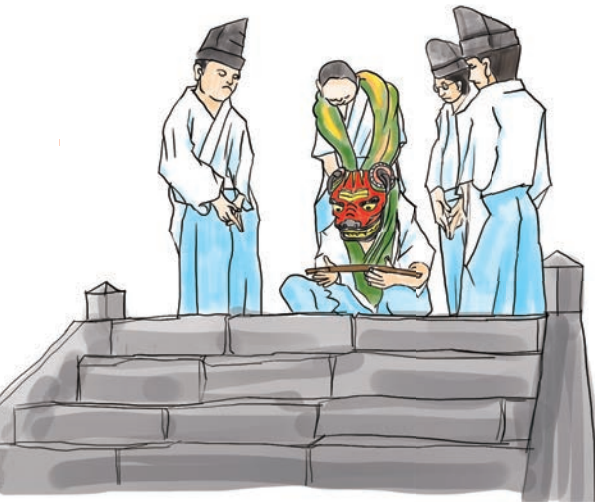
1 平舞

湯立の神事が始まったことを神々に告げる舞といわれます。社殿の中、獅子と後持は裸足で舞います。
宮城野では一人立ちの場合でも後持が幕をもって獅子に従います。



2 行の舞

ここまで社殿で舞います。この獅子の舞もやわらかく女性的な舞です。



3 宮めぐりの舞

行の舞の後、社殿を降りて拝殿の前に移動します。
二舞の後、獅子が剣をもって集落に向かい、法言を唱えます。
その後、剣と鈴を持って獅子が社殿の四隅をめぐり、社殿を清めます。

湯立獅子舞

神奈川県指定無形民俗文化財
国記録選択無形民俗文化財

1 四方固めの舞

再び社殿の中に戻って、舞われます。「湯立の行」で村の中の悪魔や病魔が退散したので、再び入ってこないように四方を固めます。勇ましく男らしい舞が力強く舞われます。この四方固めが終わったのち、湯釜の湯は観覧者へ配られます。



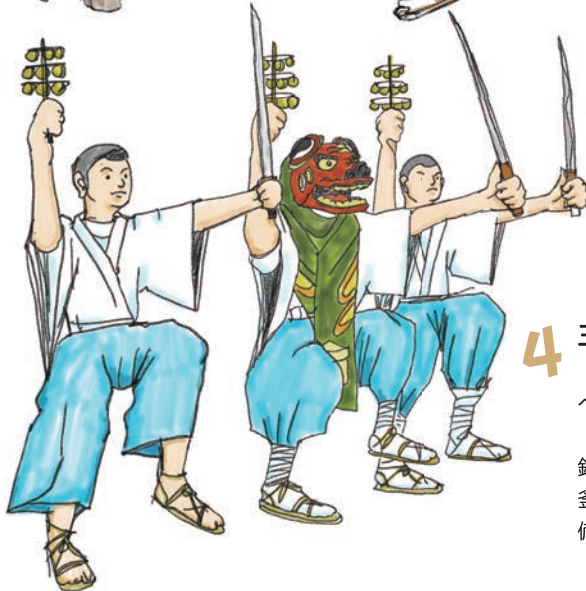
6 湯冷ましの法

熱湯を舞の力で冷ます神事です。幣束をもって大きく「風」の字を書き、湯をかき回します。
そのあと両手に笹束を持って湯をかき回し、拝殿や氏子たちに湯をふりかけます



5 釜の舞

ここから湯立ちの行に入ります。この間、獅子と後持は常に湯冷ましの法言を唱えます。
最初は二人立ち、続いて一人立ちの舞と続き、釜の周りを舞います。釜へ進むとき、右足を燃える火に向かって踏み込みます。



4 三本剣の舞

宮めぐりの舞の後、釜の前へ移動する舞です。
獅子と2名の計3名が剣と鈴をもって「七五三」の歩数で釜の前に到達し、釜の舞の準備に入ります。

2 諏訪神社

諏訪神社は、宮城野の氏神様です。長野県の諏訪大社を勧請した神社です。諏訪大社は、山の神として、中世では狩猟・神事を司っていたそうです。
さて、宮城野の諏訪神社ですが、境内には、津島神社(天王社)、山の神、浅間大明神、稲荷社など、多くの祠や碑があります。
諏訪神社の例祭は4月第二土日ですが、7月15日に行われる天王祭の中で湯立獅子舞が奉納されます。この獅子舞は仙石原の湯立獅子舞とともに、国から記録作成などをすべき貴重な無形民俗文化財に選ばれています。



明神平遺跡

2 井戸

4 二区

4 上道祖神

4 外窪の山の神

4 外窪の湧水

1 東の道祖神

3 東の山の神

3 道祖神

宮城野の集落に道祖神が3か所に5基あります。みな、双体立像で二人の人物が並んで立っている姿です。
集落の境にあり、外からの疫病を防ぐとされています。



東の道祖神



上の道祖神



向の道祖神

4 いろいろな石造物

山間部に位置する宮城野では、山は自然の恵みを得る大切な場所として、山の神を祀っています。また、湧水の場所には水神を祀って、とても大事にしています。



外窪の湧水

1 宝珠院

室町時代後期、元龜・天正年間(1570年代)の創建といわれている、曹洞宗のお寺。
墓地には江戸時代後期・天保11年(1840)に仙石原関所であった関所破りで死罪になった4人の男性の墓があります。
また、その隣には明治時代に箱根の山の中で修業をした「信の行者」の墓もあります。

住民たちに加持祈禱をして信仰を集め、「神変さん」とも呼ばれました。彼は太満谷の背後にある冠ヶ岳山頂で入寂したと伝えられ、現在もそこにお堂が祀られています。また、まだ開けていなかった強羅の開発を予言したとも伝えられています。



宮城野の史跡をめぐる旅

宮城野バス停 宮城野橋バス停

宮城野

箱根の森小学校